

情 報 公 開 文 書

研究の名称	BCL-2 阻害剤である Venetoclax に対する治療抵抗性因子の後方視的検討
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人富山大学附属病院血液内科
研究責任者	佐藤 勉
研究の概要	<p>【研究対象者】 本研究の対象となるのは、2018年5月～2022年12月までの間に富山大学附属病院血液内科へ入院し、Venetoclax による治療が行われた急性骨髄性白血病の患者さんです。</p> <p>【研究の目的・意義】 Venetoclax は急性骨髄性白血病に有効な分子標的薬ですが、どのような患者さんに効果があるのか、逆にどのような患者さんには効果がないのか、事前に予測することができません。この研究の目的は、Venetoclax による治療効果に影響を及ぼす要因を明らかにすることです。その成果は白血病治療の方針決定に活かされる可能性があります。</p> <p>【研究の方法】 カルテから得られる情報や、血液・骨髄検査で得られた白血病細胞を研究に用います。具体的な項目は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 年齢、性別、病歴、血液・生化学・骨髄検査のデータ、予後などに関する情報 ● 血液・骨髄検査の白血病細胞を用いた検討、すなわち Venetoclax 感受性や BCL-2 ファミリーの発現など <p>【研究期間】 実施許可日～2027年3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 今回の研究成果は学会や学術雑誌で発表される予定ですが、その内容に患者さん個人を特定できる情報は含みません。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	上記【研究の方法】に記載の項目をカルテから利用します。また、血液・骨髄検査で得られた白血病細胞は、診療時の残余検体を用います。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 病院長 林 篤志
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	富山大学附属病院 血液内科 佐藤 勉
研究対象者、親族等関係者からの相談等への	研究対象者からの除外を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。

対応窓口	電話：076-434-7232 FAX：076-434-5106 E-mail：tsutomus@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名：富山大学附属病院 血液内科 佐藤 勉
------	--